2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[　家島小学校　]　担当教諭[　平野兼伍　]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[４年１組２０名][4年2組22名][　年　組　名]			
実施期間:　　２００９年　9月～　２０１０年　3月			
交流:無　・　○有　国名[ＵＳＡ] 学校名 Saddle River Day School] 学年・人数［ ２・３年２６名 ］ 担当教諭[Mrs. Laly Porras]			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	総合	国際交流で絵を描こう	１６
	国語	新聞で伝えよう	４
	図工	初めての版画	６

■作品について教えてください。

題(テーマ)	「カラフル」 平和な世界は、色にあふれ、子ども達が手をつなぐ。
絵に込めたメッセージ	日本とアメリカの子ども達が、今の等身大の自分たちを伝え合い、知りえたことから浮かんだイメージをカラフルな絵にして、平和のメッセージとした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・前年度の活動からイメージを広げ、今年度のアメリカとの交流の ・英語で自己紹介を掲示板に書き込む	今年度は、アメリカとの交流ということで、カナダとの交流を期待していたことから、少し残念との声もあったが、話の中で新しい交流への期待に変わっていく様子が感じられた。	総合６
情報収集	10 月	・自己紹介のメッセージカードと、プレゼントを詰めた箱を作り、アメリカへ向けて発送した。 ・掲示板にアメリカからの自己紹介が届く。	林間学舎いった時に、みんなで絵付けをした伝統工芸の姫路こまをプレゼントに入れるなど、一人一人が友好の気持ちを込めて、プレゼントの箱を膨らませていた。	総合４
テーマ検討	11 月	・掲示板に返事を打ち込んだ。 ・掲示版にてアイデアを提案。 ・通信で、アメリカとの交流を紹介。 ・ゴム版画で、自分たちの名前を彫り、シートに押した。	みんな真剣にテーマを考え、アメリカに提案した。 新聞作りにかなりのりのりで取り組み、アメリカからのメッセージの中身について調べたり、自分たちの身近にもあるものを持ち寄ったりしていた。	総合６ 国語４
制作	12 月 ～ 2月	・掲示板にアップしてくれたアメリカの子の絵をもとに、グループごとに分かれて絵を書き進めた	熱心に書いていた。 他のグループの担当場所にも積極的にかかわっていた	図工６

鑑賞	9月	共同制作した絵の鑑賞 おかえりなさい！ いってらっしゃい！式	自分たちの成し遂げた壁画の大きさにみとれていた。	（行事２）

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	4	5・4・3・2・1	呼びかけると、こたえてくれることを実感していた。
情報活用能力（収集・発信）	4	5・4・3・2・1	掲示板でくれたメッセージや写真から得た情報をインターネットなどで広げて知識に変えていた。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	4	5・4・3・2・1	相手からのメッセージにとても親しみを感じて、返事を書いていた。
協同作業をする力（役割・段取り）	4	5・4・3・2・1	絵を描く段階になって、
異文化の理解	4	5・4・3・2・1	交流相手の文化や生活が自分たちと似ているところと違うところがあることが分かって、相手に対する関心が深まった。
自文化の理解・自分を見つめる	5	5・4・3・2・1	相手に伝えるために詳しく自分たちの身近な祭りや文化について調べて、あらためてふるさとの良さに自覚的になっていた。
表現力	4	5・4・3・2・1	より美しくであったり、デザインに工夫をこらしたりと、自覚的に壁画を完成へと導いていた。
学習を追究する意欲	5	5・4・3・2・1	ほんのちょっとした言葉から、調べるといろんなことが見えて、楽しいという気分を味わった。
作品を鑑賞する力	5	5・4・3・2・1	海を越えた向こうから届いた完成した壁画に心動かされると同時に、誇らしさを感じた様子である。細かいところまで目がいく様子。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・ 絵を描くときにアメリカの子ども達の今を感じ、相手のことを考えながら描くことができた。 ・ 自国の文化や身のまわりのことを相手へ紹介することを通じて、より自覚的に良さとして捉えることができた ・ 国が違っても１つの作品を一緒に完成させることができることがわかった。	絵の構図を決めるまでにかなり時間がかかってしまい、送るのが遅くなってしまった。 鑑賞に十分時間がとれなかった。 情報交換やプレゼントの交換などの面で、課題は残るが得がたい経験は、何ものにも変え難く、子ども達の記憶に残ると思われる。今後、完成した絵の動向を子どもたちにマメに発信したいが、その方法については、課題である。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
美術館での展示や他国での国際会議での展示など、地域の新聞やアートマイルのホームページで取り上げてもらい、独自にお知らせ号の発行もした。	保護者や地域の方から「いいことですね。」「絵自体がとても好き。」など、たくさんの声をかけてただき、子どもたちが自分たちがしたことに誇りを感じることができたと思われる。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

ジャパンアートマイルの理念はとても素晴らしく、共感します。また、メーリングリスト、ホームページのみならず、親しくお声かけいただき、様々な情報をくださる点、また、困ったことには、メール、電話等で親身に相談に乗っていただけた点、等々、大変信頼をおいて、制作に打ち込むことができました。

　事後の絵の動向についても、詳しくお知らせくださって、本当にありがとうございます。

感謝しています。今後ともよろしくお願いします。